

みんなでつくる、
ミライのふるさと。

豊田市制70周年記念誌

概要版



市制70周年を記念して制作したロゴマーク

ベースデザインにつける色や模様を市民から募集し、応募作品699点の中から選定。
ミライに向けて大きな花を開かせていくことと、豊田市の明るさや優しさを表現した
デザインとなっています。



記念誌本編、記念誌概要版（多言語訳）はこちらをご覧ください。
Full (Japanese) and digest (multi-language) versions of the memorial magazine are available here.
As versões completa (em japonês) e resumida (multilíngue) da revista memorial estão disponíveis aqui.
Aquí están disponibles las versiones completa (japonés) y resumida (en varios idiomas) de la revista conmemorativa.
Ang mga kumpleto (Hapon) at buod (maraming wika) na bersyon ng alaalang magasin ay makikita dito.
Phiên bản đầy đủ (Tiếng Nhật) và bản tóm tắt (đa ngôn ngữ) của tạp chí tưởng niệm có sẵn tại đây.
在此获取纪念刊的完整版本（日语）和摘要版本（多语言）。



豊田市制70周年記念誌の発行に寄せて



豊田市長
太田 稔彦

豊田市は、1951（昭和26）年3月、県下で12番目に「挙母市」として市制を施行し、今年で70周年という記念すべき年を迎えました。

本市は、2005（平成17）年4月に7市町村が合併し、世界をリードするものづくり中枢都市としての顔を持つ一方、市域のおよそ7割を森林が占めるなど、様々な可能性を秘めた全国有数の都市へと発展を遂げました。今日の私たちの暮らしは、先人の礎のもと育まれ、築かれたものであり、これまでまちづくりに取り組まれた多くの皆様に、心より感謝申し上げます。

この度、本市のこれまでの歩みを振り返り、次代につなげていくため、豊田市制70周年記念誌「みんなでつくる、ミライのふるさと。」を発行いたしました。記念誌をご覧いただいた皆様が「W E L L O V E とよた」の思いのもと、より一層豊田市への愛着と誇りを持っていただけるきっかけとなれば幸いです。

70周年という節目を新たなスタートとし、本市の新しい未来に向けたさらなる一歩を踏み出してまいります。



豊田市議会議員
山田 主成

豊田市制施行70周年、誠におめでとうございます。この記念すべき慶事を、42万市民の皆様とともにお祝いできることを大変喜ばしく思います。本市は、1951（昭和26）年に市制施行し、幾度かの市町村合併を経て、今では世界に誇れるものづくり産業と、豊かな自然や文化、歴史など多くの地域資源に恵まれた都市に発展しました。

今日までの豊田市の発展は、先人たちのたゆまぬ努力と情熱があったからこそであり、心から敬意を表し、深く感謝を申し上げます。また市民の皆様におかれましては、新しい時代にふさわしい豊田市発展のために、今後とも一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

市議会といたしましても、市政発展にご尽力いただいた先人たちの志を忘れることなく、市民の皆様の負託に応えるため、今後も安全・安心で住みよいまちの発展に寄与するように全精力を傾けて取り組んでまいります。

結びに、市制施行70周年を契機に、豊田市のさらなる発展を祈念申し上げ、発行に寄せるあいさついたします。

私たち一人一人の挑戦が、 ふるさとのミライを輝かせる。

豊田市制70周年の記念対談にお迎えしたのは、光触媒研究の第一人者として活躍されている藤嶋昭さんです。豊田市で幼少期を過ごした藤嶋さんは2021(令和3)年3月、豊田市名誉市民として推挙されました。対談では「世の中に役立つこと」を探究し続ける研究者としての信念、次代を担う子どもたちへの思いなどとともに、ふるさとの思い出やこれからの豊田市について太田稔彦市長とお話いただきました。

巻頭対談

東京理科大学名誉教授

豊田市長

藤嶋 昭

太田 稔彦

PROFILE

1942(昭和17)年 東京都生まれ
1944(昭和19)年 豊田市(現在の足助地区)に疎開のため移住
2005(平成17)年 東京大学特別名誉教授就任
2010(平成22)年 東京理科大学学長就任(～2018(平成30)年)
2017(平成29)年 文化勲章受章
2018(平成30)年 東京理科大学名誉教授就任
2021(令和3)年 豊田市名誉市民推挙

PROFILE

1954(昭和29)年 豊田市生まれ
2012(平成24)年 第8代豊田市長就任
2016(平成28)年 豊田市長再任(2期目)
2019(令和元)年 中核市市長会会長就任
2020(令和2)年 豊田市長再任(3期目)

コロナ禍において注目される 光触媒のパワー

太田市長 この度は、豊田市名誉市民の称号をお受けくださって、ありがとうございます。
藤嶋さん こちらこそ、ありがとうございます。大変光栄なことです。私は2歳から12歳までの10年間、父の出身地である足助地区・旧盛岡村で暮らしました。私にとって豊田市は大切なふるさとですから、豊田市名誉市民に推挙いただき、とても嬉しく思っています。

太田市長 藤嶋先生は地元の誇りですから。市制70周年の節目の年にこうしてお話ができ、光栄です。藤嶋先生が発見された「光触媒」は、新型コロナウイルスが世界中に蔓延する今、医療現場などでの活用が広がっているそうですね。

藤嶋さん そうですね。抗菌・抗ウイルス効果がある光触媒は、以前から手術室の壁にコーティングされ、衛生的な環境の維持に使われてきました。コロナ禍においては、光触媒を採用した空気清浄機を医療機関、特に医療スタッフの控室で使うケースが増えているようです。さらに、光触媒関連の新たな製品を開発している企業もあります。新型コロナウイルスの感染予防にも光触媒が役立てられていて、研究に力を注いで良かったと感じています。

太田市長 光触媒について、改めてご説明いただけますか。

藤嶋さん 光触媒とは、光が当たった時に

働く触媒のこと。その主な物質が酸化チタンです。酸化チタンの表面に光が当たると、強い酸化力が生じて水が分解されます。
太田市長 「分解」というところが光触媒のすごい点でしょうか。
藤嶋さん そうですね。酸化チタンに光が当たって起こる化学反応によって、ウイルスや有害物質、油污れなど多くのものを分解できるのです。

人の役に立つものを 世界中に届けたい

太田市長 光触媒を発見したのは、どんなことがきっかけでしたか。

藤嶋さん 東京大学大学院に進学して1年ほどが経った1967(昭和42)年の春、電池

の電極に関する実験をしていた時のことです。酸化チタンの電極と白金の電極を導線でつないで水に入れ、酸化チタン電極に強い光を当てると、それぞれの電極の表面から勢いよく泡が出ることに気づきました。何だろうと調べてみると、その泡は酸素と水素。つまり、水が分解されていたのです。この時、光触媒の元となる原理を発見しました。
太田市長 その成果は1972(昭和47)年に世界的な学術雑誌『ネイチャー』に掲載され、1973(昭和48)年の第一次オイルショックの時に世界中で話題になったそうですね。
藤嶋さん 「石油がなくても水を原料にして水素が取れる」ということに、当時は注目が集まっていました。私は光触媒の現象を「人工的な光合成」と捉え、葉っぱの葉緑素の代わりを酸化チタンが果たしているのだと思い、感動しましたね。
太田市長 画期的な原理を発見するだけではなく、世の中に役立つ製品の開発につなげたことも、藤嶋先生の大きなご功績だと思います。
藤嶋さん いかに日常生活で使えるかという視点を大切にして、これまで光触媒の研究を進めてきました。酸化チタンが持つ強い酸化力と超親水性の光触媒作用を応用し、汚れを防ぐ建築材、曇らない車のドアミラー、大気を浄化する外壁材、空気清浄機などの製品が生まれています。世界中で使っていただけで嬉しい限りです。

Prefatory Interview

Fujishima Akira, Honorary Emeritus Professor of Tokyo University of Science × Ota Toshihiko, Mayor of Toyota City

Toyota City has nominated Mr. Fujishima Akira as an honorary citizen. Mr. Fujishima discovered a photo catalysis that breaks down viruses, hazardous substances, oil grease stains, and other types of matter with exposure to light. As the novel coronavirus spreaded throughout the world, medical institutes and other facilities adopted air purification systems using his photo catalysis. His experiments with electrodes in graduate school led to his discovery of this photo catalysis process. His findings were even covered in the world-renowned Nature science magazine. As he has advanced his research, Mr. Fujishima has taken care to find applications for his discovery in daily life.

研究者としての原点は 佐切小学校での学び

太田市長 今回の対談の前に母校である佐切小学校に行かれたそうですね。いかがでしたか。

藤嶋さん 同窓生たちが集まって歓迎してくれました。懐かしい思い出がよみがえってきましたね。祖父父母のお墓参りにも行ってきました。

太田市長 佐切小学校では毎年10月、ノーベル賞の発表の時期になると今年こそ藤嶋先生が受賞されるのではと「ノーベル賞受賞を待つ会」を開催しています。子どもたちもノーベル賞や科学を身近に感じているようですよ。日本広しといえども、ノーベル賞で毎年盛り上がる地域はそうそうあるわけではないですから、藤嶋先生の偉大さを感じています。

藤嶋さん 地域みなさんがイベントを開いてくださっていることに、本当に恐縮しています。何だか申し訳ない（笑）。でも大変光栄なことだと感謝しています。

太田市長 豊田市と足助町が合併したからこそ、藤嶋先生の活躍を「オールとよた」の喜びとして、市民みんなで分かち合っています。

藤嶋さん 足助町になる前、私が幼い頃は盛岡村でした。盛岡村立佐切小学校だったんです。それが足助町になってすごいなと思っていたら、今度は豊田市。出身地を聞かれたとき「豊田市です」と答えられることが

私の自慢ですよ。

太田市長 佐切小学校時代には、どんな思い出がありますか。

藤嶋さん 一番の楽しみだったのが、佐切小学校で時々行われていた映画上映会。母親と一緒に、真っ暗な夜道を歩いて行ったことを覚えています。懐中電灯はない時代ですから、空き缶にろうそくをつけて、ほのかな灯りで照らしながら行くんです。流れ星やホタルがきれいだね。映画だけでなく、その行き帰りも楽しい思い出です。

太田市長 学校生活はいかがでしたか。

藤嶋さん 6年生の時の理科の授業は今でも印象に残っています。クラスが半分ずつに分かれて「情報収集にはラジオが良いか新聞が良いか」という論戦を繰り広げました。自分たちで考えて意見を言い合う授業は珍しかったですから、忘れられない経験になりました。また、当時使われていた単位は尺貫法でしたが、メートル法を教わったことも衝撃的でした。先生が1リットルのビーカーに水を入れて「1リットルの水の重さは1キログラムだよ」と言いました。それまで当たり前に思っていた一貫目、一匁、一尺、一寸という単位とは違う概念に驚いて、「もっといろいろなことを知りたい」と好奇心が刺激されたのです。そんな学びのおもしろさを体感したことが、研究者の道を進むことになった原動力なのかもしれません。

雑草という草はない

太田市長 私は以前、藤嶋先生のお話を伺い、印象に残っているエピソードがあります。戦時中に東京から疎開で盛岡村に来た時、都会とは違って何もなかったけれど、ホタルの灯りを数えたり、雲の動きを見て次の日の天気を予想してみたり、何にでも興味を持たれたそうですね。それがおそらくご自身にとっての出発点だろうと藤嶋先生がおっしゃっていました。

藤嶋さん そうです。身のまわりにある自然には、不思議なこと、おもしろいことがあふれていますからね。いかに関心を持つかが

大事です。牧野富太郎という有名な植物学者が「雑草という草はない」という言葉を残しています。雑草という草はなくて、どんな小さな植物にも名前があるんですよ。草花の名前を覚えただけで、普段何気なく通る道も景色が違って見えるでしょう。関心を持つことが、自分の視野を広げる第一歩だと思います。

太田市長 ものが満ち足りて、いろんな情報にあふれる世の中では、何気ないものに目を向けることが少なくなっているように感じます。物質的な豊かさだけではなく、心の豊かさを求めることが、これからの社会においてますます重要ですね。心豊かな日々を過ごせるように、豊田市では各地区で大切にされてきた身近な地域資源の価値や可能性・多様性をみんなで共有する「WE LOVEとよた」の取組を広げてきました。それぞれが実感している豊田市の魅力を伝え合い、一緒に楽しもうというムーブメントが市民に広がっています。何気ないまちの風景も尊いものとして捉え、大切にしていきたいという市民の思いや行動が、豊田市を「わくわくする世界一楽しいふるさと」に育てていくと信じています。

藤嶋さん まちの魅力を再発見し、次の世代につないでいくための素晴らしい取組ですね。私は大切なものを見落とさないよう、日頃から何でもメモするようにしています。心が動かされたこと、不思議だなと感じたことなど、すべて手帳に書き残しておくので



母校を見学しながら、思い出を振り返る藤嶋さん

Mr. Fujishima visited his alma mater Sagiri Elementary School before his interview with Mayor Ota Toshihiko. Many of his old classmates joined to welcome him with a warm reception of renewed friendship. Mayor Toshihiko touched on the Nobel Laureate Forum held every October before asking Mr. Fujishima about his time at Sagiri Elementary School. Mr. Fujishima said learning about meters, liters and other units of measurement in science class made quite an impression. At a time when Japan still commonly used its own units of measurement, the metric system had piqued the curiosity of young Fujishima. This experience was one that evoked his interest even in the ordinary and expanded his view of the world around him. Inspired by Mr. Fujishima's words, Mayor Ota Toshihiko introduced the WE LOVE TOYOTA initiative that shares the value of local resources as well as the diversity and potential of the entire city.



佐切小学校で一緒に学んだ藤嶋さんと同窓生のみなさん

子どもたちにも 学ぶ楽しさを伝えたい

太田市長 藤嶋先生は以前から、科学のおもしろさを伝える講演会や読書推進など、子どもたちを対象とした活動にも尽力されていますね。豊田市では小・中学校などで講演会「藤嶋塾」を開催していただき、子どもたちにとって授業とはまた違った学びの場になっています。また、藤嶋先生から寄贈いただいた本は、先生の母校である佐切小学校で「藤嶋文庫」と名付けられ、多くの子どもたちが科学などに関心を持つきっかけになっています。

藤嶋さん 小学生や中・高生のみなさんに向けた講演会を行う時は、「身近なものの不思議」を題材にお話をしています。たとえば、空はなぜ青いのか。雲はなぜ白いのか。当たり前のこととして普段は気にも留めないけれど、なぜなのか答えるのは難しい問題ですよ。でも、それぞれ理由がちゃんとあるんです。その理由を探っていくと、科学の奥深さを感じて、物事の捉え方も変わってきます。

太田市長 ものの見方とか視点というのは、科学に限らず大切ですよ。

藤嶋さん その通りです。多角的な視点は、いろんなジャンルの本を読むことで身につきます。今回の対談に先立ち、佐切小学校を訪れた時、図書室にも寄ったのですが、藤嶋文庫以外にも本がたくさんありました。私が小学生の頃には考えられなかったこ

より良いミライに向かって ともに挑み続ける

太田市長 藤嶋先生が新たにチャレンジしたいと思っていることは何でしょうか。

藤嶋さん 光触媒による水処理です。非常に難しく、まだ研究段階。世界中の飲み水をきれいにすること、汚れた池をきれいにすることが目標です。今は東京のお堀を美しくできないかなと思って、水処理用フィルターなどを検討しています。「太陽光によって、汚れた水を自然にきれいにする」技術を、未来のために実現していきたいですね。

太田市長 素晴らしい！その技術が確立すると、世の中のいろんな問題が解決しますね。

藤嶋さん 太田市長はどんなことにチャレンジしていきたいですか。

太田市長 私は3期目の市政経営に全力で取り組みたいと思っています。人口減少や少子高齢化の進展、第4次産業革命、災害の激甚化など、これまで経験したことのない時代へと移っていく現代。先人の進めてこられた歩みと、市民一人一人の思いをしっかりと未来につなぐためのまちづくりを進めます。「すくすく」育つまち、「ゆうゆう」暮らせるまち、「いきいき」活躍できるまち、「わくわく」楽しいまち、「つつこ」備えるまちの5つを柱として掲げ、安全・安心なまちづくり、元気で明るいまちづくりに挑み続けたいと考えています。

藤嶋さん 豊田市は日本だけでなく世界的にも名の知れたまちですから、これからの発展にも期待しています。私もふるさと・豊

と。学校には勉強する機会が数多く用意されていますから、子どもたちは積極的に活用して、自分からいろんなことを吸収してほしいなと期待しています。

太田市長 オンライン藤嶋塾なども開催して、より多くの子どもたちに学ぶ楽しさを伝えていきたいですね。豊田市は、豊かな人間性を育むための教育環境づくりを推進しています。地域の宝である子どもたちがそれぞれの個性や可能性を伸ばしていけるように、多彩な学びのチャンスを提供していきたいと思います。藤嶋先生、またぜひご協力をお願いいたします。

藤嶋さん 佐切小学校でも藤嶋塾を開催させていただき、私も後輩である子どもたちと交流できて嬉しいです。貴重な機会をつくっていただいて、本当にありがたいと思っています。



田市のために何かお力になればと、今後藤嶋塾などを行っていきます。

太田市長 ありがとうございます。藤嶋先生には、「WE LOVE」とよたスペシャルサポーター」の一人として豊田市の魅力も発信していただいていますね。豊田市の将来に対して、何かご要望はありますか。

藤嶋さん 日本は資源が限られた国ですから、未来を担う人材の育成、科学技術の研さんが重要です。自動車産業をはじめ「ものづくり」が盛んな豊田市を中心にして、科学技術をどんどん発展させていたいただきたいなと思っています。それは豊田市のためだけではなく、日本のため、アジアのため、世界のためになるでしょう。

太田市長 そうですね。未来に向けて豊田市が培ってきた強みにさらなる磨きをかけ、「子どもたちへつなぐ安心で活力と魅力あるまち豊田」の実現に力を注いでいきます。引き続き、藤嶋先生にはご指導いただきますよう、よろしく願っています。

藤嶋さん 私も研究活動や後進育成にますます励んでいきます。また、藤嶋塾などで豊田市にお伺いしますね。



「WE LOVE とよたスペシャルサポーター」の任命式の様子



In order to promote and spread the fun of science, Mr. Fujishima holds the Fujishima Science Classroom at local elementary, junior high and high schools. He also donated this alma mater with a wide range of books establishing the Fujishima Book Corner at Sagiri Elementary School to be actively used by its students.

At the end of the interview, Mayor Ota asked a question about the future. Mr. Fujishima explained his vision of using the photo catalysis he discovered to realize water processing that uses sunlight to purify dirty water naturally. Mr. Fujishima then threw the same question out to Mayor Ota. The Mayor of Toyota City pointed to rapid educational development, a leisurely lifestyle, enthusiastic engagement, thrilling entertainment, and steadfast readiness as five pillars for safe and secure urban development—an endeavor he hopes will continue to build a bright, energetic city.



「藤嶋塾」は、豊田市が独自に開催する、藤嶋さんを講師に迎えた講演会です。ものづくりなどの将来を担う人材育成の一環として、ご自身の研究活動や科学のおもしろさなどについて語っていただいています。これまでに小・中学校を中心に、中央図書館、交流館など市内の各所で開催しました。

2015	2014				2013				2012				2011				2010				2009				2008				2007				2006				2005				2004				2003				2002				2001			
平成27年 1月				平成26年 3月				平成25年 5月				平成24年 2月				平成23年 3月			平成22年 4月				平成21年 1月				平成20年 1月				平成19年 4月				平成18年 3月				平成17年 3月				平成16年 3月				平成15年 3月				平成14年 4月				平成13年 7月	
			10月	4月	6月			11月			7月	5月				12月			6月				12月				4月				6月				11月				12月				12月				11月				10月				10月	
●とよた世界環境ウィーク2015の開催 ●とよた防災サミットの開催	●構造改革特別区域「豊田市立ち乗り型パーソナルモビリティ実験特区」に認定 ●浄水北小学校が開校 ●クルマづくり究めるプロジェクトがスタート ●喜多町からとよたエコフルタウンヘクスノキを移植 ●とよたまちさとミライ塾の初開催 ●高等学校魅力発見フェスタの初開催 ●地域自治シンポジウムin豊田の開催				●とよたエコフルタウンにスマートモビリティパークと水素ステーションがオープン ●足助病院の改築事業が完了 ●西三河9市1町で西三河災害時相互応援協定を締結 ●旧鈴木家住宅16棟が重要文化財に指定 ●おいでん・さんそんセンターが開所 ●HamorIDEの実証運用を開始				●8代目市長に太田稔彦氏 ●とよたエコフルタウンがオープン ●とよたイノベーションセンターがオープン ●矢並湿地、上高湿地、恩真寺湿地の3つの湿地が、東海丘陵湧水湿地群としてラムサール条約に登録 ●中央保健センター機能を含む市役所新東庁舎が完成				●東日本大震災被災地へ支援物資の提供 ●藤岡南中学校が開校 ●福祉センターが完成 ●足助町の歴史的町並みが県内初の重要伝統的建造物群保存地区に選定 ●美術館でフェルメール《地理学者》とオランダ・フランドル絵画展の開催 ●地域活性化総合特区として「次世代エネルギー・モビリティ創造特区」に指定				●交通安全学習センターがオープン ●おいでんバス豊田東環状線で燃料電池バスの運行を開始 ●スカイホール豊田に武道館、サブホールがオープン ●名古屋グランパスがJ1初優勝				●東海地方で唯一の環境モデル都市に選定 ●プラグインハイブリッド車の納車式				●加茂病院が浄水町に移転し、豊田厚生病院として開院 ●足助バイパスが開通 ●保育園と市立幼稚園の名称をこども園に統一 ●石畳ふれあい広場足湯がオープン				●スカイホール豊田がオープン ●渡刈クリーンセンターがオープン ●森づくり条例を施行 ●環境学習施設eco-T（エコット）がオープン				●豊田市民の新しいシンボルマークが決定 ●豊田ナンバーの交付を開始 ●コモ・スクエアがオープン				●東海環状自動車道が開通 ●東部丘陵線（リニモ）が開業 ●愛・地球博が開幕 ●西加茂郡藤岡町・小原村、東加茂郡足助町・下山村・旭町・稲武町と合併 ●近代の産業とくらし発見館がオープン				●衣浦豊田道路が開通 ●名鉄三河線猿投～西中金駅間が廃線 ●日本赤十字豊田看護大学が開学 ●豊田加茂7市町村による合併協定調印式 ●伊勢湾岸自動車道（豊田南インターチェンジ―豊田ジャンクション）が開通				●伊勢湾岸自動車道豊田東インターチェンジが開通 ●矢作川豊田防災ステーションが完成 ●コンサートホールにパイプオルガンが完成 ●西広瀬小学校の水質汚濁調査が連続1万日達成 ●伊勢湾岸自動車道豊田南インターチェンジが開通				●A館T・F・A・C・Eに市駅西口サービスセンターなどがオープン ●公民館が交流館に名称を変更 ●豊田加茂地域8市町村長による豊田加茂広域行政研究会が発足 ●豊田市三好町、よつば下山村のJAが合併し、JAあいち豊田が誕生 ●東海環状自動車道猿投山トンネルが貫通 ●豊田加茂8市町村合併研究会が発足				●豊田スタジアムがオープン ●中核市サミットの開催 ●松坂屋豊田店がオープン			
																																																								

2020	2019	2018	2017	2016	2015
令和2年 1月 4月 6月 7月 12月	平成31年 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月	平成30年 1月 2月 4月 6月 7月 8月 10月 11月	平成29年 2月 4月 6月 7月 9月 11月	平成28年 2月 4月 7月 8月 9月 12月	平成27年 1月 3月 4月 5月 7月 9月
<ul style="list-style-type: none"> ●ラグビーワールドカップ2019の開幕 ●豊田地域医療センター診療棟がオープン 	<ul style="list-style-type: none"> ●豊田スタジアムを改修 ●新藤岡支所がオープン ●消防用ドローンの運用を開始 ●トヨタ自動車下山テストコースの一部が運用開始 ●新豊田駅東口駅前広場「新とよパーク」がオープン ●豊田市駅東口ペDESTリアンデッキが完成 ●豊田北バイパス平戸大橋区間が開通 ●すべての小・中学校に空調機を設置 ●美術館で「クリムト展ウィーンと日本1900」の開催 ●都市計画道路豊田則定線「高橋」4車線が開通 ●あいちトリエンナーレ2019の開催 ●豊田市駅東口まちなか広場「とよしば」がオープン ●ラグビーワールドカップ2019の開幕  	<ul style="list-style-type: none"> ●豊田市を舞台とした映画「星めぐりの町」の全国上映が開始 ●女性しごとテラスCappuccino（カプチーン）を開業 ●人材創造拠点「つくラッセル」がオープン ●とよたシニアアカデミーが開講 ●防災ラジオの販売を開始 ●西日本豪雨被災地への支援 ●中核製材工場の本格稼働 ●原動機付自転車の図柄入りナンバープレートの交付を開始 ●とよた子育て総合支援センター「あいあい」がリニューアルオープン  	<ul style="list-style-type: none"> ●一般社団法人おいでん・さんそんが設立 ●一般社団法人ツurisズムとよたが設立 ●「WE LOVE とよた」条例を施行 ●歌舞伎伝承館が開館 ●高校生消防クラブが発足 ●高岡コミュニティセンター内に健康と福祉の相談窓口を開業 ●成年後見支援センターを開業 ●ものづくり創造拠点SENTANが開所 ●KiTARAがオープン 	<ul style="list-style-type: none"> ●新東名高速道路（豊田東ジャンクション〜浜松いなさジャンクション）が開通 ●浄水中学校と浄水交流館を合築で建設 ●寺部小学校と寺部こども園を合築で建設 ●民芸の森の一般公開を開始 ●美術館でジブリの立体建造物展の開催 ●都市対抗野球大会でトヨタ自動車（豊田市代表）が初優勝 ●大学生が学生機能別団員として消防団に初めて入団 ●豊田市スポーツ栄誉賞の創設 ●とよた救急・子育てコール24・育救さんコールを開業 ●豊田市つながる社会実証推進協議会が発足 	<ul style="list-style-type: none"> ●トヨタ自動車の燃料電池自動車「MIRAI（ミライ）」を全国に先駆けて公用車として導入 ●ラグビーワールドカップ2019の愛知県・豊田市での開催が決定 ●新☆豊田市10年祭とよたのチカラ！満サイ展の開催 ●一級河川安永川改修事業トンネル区間が完成 ●動物愛護センターがオープン ●徳川家康公400年祭記念大会の関連イベントがスタート ●あそべるとよたプロジェクトがスタート ●WE LOVE とよた商品券の販売 ●ものづくりミライ塾が開講 ●獣肉加工処理施設が完成 

2020 REPORT

新型コロナウイルス感染症に関する記録

新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい、世界中に不安や混乱が広がった2020（令和2）年。国内では4月に緊急事態宣言が全国に発出され、日常が一変しました。

市内では、緊急事態宣言が解除された5月頃から経済活動が順次再開し、学校・こども園・公共施設も段階的に再開しました。豊田市では、市民生活や事業活動を支えるための対策に力を注ぐとともに、国や県、医療機関との連携を強化し、感染拡大の防止に取り組みました。また、感染対策用品の寄贈や飲食店応援キャンペーンなど、人々の支え合いの輪が拡大。困難な状況を乗り越える力になりました。





RUGBY WORLD CUP 2019

IN TOYOTA STADIUM

世界最高峰のラグビーに感動 ラグビーワールドカップ2019 in 豊田スタジアム

世界中に熱い感動をもたらしたラグビーワールドカップ2019。全国12会場の一つに、豊田スタジアムが選ばれました。招致から開催までの道のり、大会期間中の熱狂、レガシーなどを振り返ります。

ラグビーワールドカップは、1987年に第1回大会を開催して以来、4年に一度行われる国際大会です。夏季オリンピックやサッカーワールドカップと並ぶ世界三大スポーツ大会の一つと言われていました。これまでは、ヨーロッパやオセアニア、南アフリカなど、ラグビー伝説国が開催地となってきました。その歴史に新たな風が吹いたのが、ラグビーワールドカップ2019。日本がアジア初の開催地に選ばれました。そして、たくさんの声援を力に変えた日本代表が史上初の8強入りという快挙を成し遂げたのです。

ラグビーワールドカップ2019公式キャッチコピー「4年に一度じゃない。一生に一度だ。」のとおり、市民にとっても、一生に一度の体験となった今大会。世界中から訪れた多くの人とともに、世界最高峰のラグビーが生み出す熱狂や感動を分かち合いました。

The Thrill of the World's Top Rugby at the Rugby World Cup 2019 in Toyota Stadium

The Rugby World Cup 2019 brought the worldwide passion of rugby to Japan. Toyota Stadium was selected as one of the 12 competition venues throughout Japan. This tournament proved its official slogan promising a "one in a lifetime" experience to be true for the people of Toyota as well. Let us look at some of the excitement during the tournament, the legacy, and the active participation of the citizens.



招致から開催までの道のり

多くの人々の尽力により、豊田スタジアムでの開催が決定。ラグビーの魅力や豊田市開催のメリットを広く伝え、ラグビーワールドカップ2019の開催機運を醸成しました。

2019 令和元年	2018 平成30年	2017 平成29年	2016 平成28年	2015 平成27年	2014 平成26年
6月●愛知県・豊田市独自ボランティアの募集を開始 ●愛知・豊田ラグビーフェスタ2019の開催 ●100日前イベントの開催 8月●シティドレッシングを開始 9月●ラグビーワールドカップ2019の開幕	1月●チケット販売を開始 4月●名古屋・一宮市・豊田市が公認チームキャンプ地に内定 ●ラグビーワールドカップ2019日本大会公式ボランティアの募集を開始 5月●500日前イベントの開催 6月●リビタンDチャレンジカップ2018日本代表対ジョージア代表戦の開催 ●愛知・豊田ラグビーフェスタ2018の開催 9月●最大のラグビースタムでギネス世界記録を達成（豊田商工会議所青年部） 10月●1年前イベントの開催	11月●試合日程発表のパブリックビューイングを実施 ●愛知・豊田ラグビーフェスタ2017の開催	6月●リビタンDチャレンジカップ2016日本代表対スコットランド代表戦の開催 7月●愛知・豊田ラグビーフェスタ2016の開催 12月●1000日前イベントの開催	1月●ラグビーワールドカップリミテッドらが開催都市立候補地を公式視察 3月●愛知県・豊田市が開催都市に決定 8月●ラグビーワールドカップ2019愛知・豊田開催支援委員会を設立 9月●イングランドで開催されたラグビーワールドカップ2015のパブリックビューイングを実施	5月●豊田市が開催都市として立候補を表明 10月●愛知県と豊田市が連名で開催都市希望申請書を提出

RUGBY WORLD CUP 2019

もっと強くなりたい 夢の舞台で新たな扉を開く

姫野和樹選手プロフィール

1994(平成6)年 愛知県生まれ
2017(平成29)年 トヨタ自動車ヴェルブリッツ入団／新人賞・ベスト15
日本代表選出
2019(令和元)年 ラグビーワールドカップ2019出場 全5試合先発出場

RUGBY WORLD CUP 2019

姫野和樹選手 インタビュー

「もっと強くなりたい」という向上心です。中学時代からラグビーに熱中してきた僕には「ラグビーを日本になくしてはならない存在にしたい」という夢があります。その実現の

ラグビーワールドカップ2019を通して、何を得たと感じますか。

「もっと強くなりたい」という向上心です。中学時代からラグビーに熱中してきた僕には「ラグビーを日本になくしてはならない存在にしたい」という夢があります。その実現の

ラグビーワールドカップ2019に出場し、いかがでしたか。

出場した全5試合、夢の舞台に立てた喜びを噛みしめながらプレーしました。その一秒一秒が、自分にとってかけがえのない宝物です。

―地元・豊田スタジアムの試合で、印象に残っていることを教えてください。

トライを決めた時、会場が姫野コールに包まれた瞬間は、本当に忘れられません。とても感慨深く、胸が熱くなりました。豊田スタジアムは、僕のホームスタジアムだと思っています。そんな大切な場所で自分らしいプレーができて、お世話になった方々、応援してくれる方々に恩返しできたかなと嬉しく感じました。

もう一つ印象に残っているのは、豊田市のみなさんのおもてなし。とても素晴らしいかったです！豊田市駅前の賑わいは、まさにお祭り騒ぎ。すごい盛り上がりでしたね。日本代表が宿泊したホテル前には大勢の人々が集まって大歓迎してくれて、豊田市はラグビーに熱いまちだと実感しました。

―豊田市のみなさんへ、メッセージをお願いします。

今後の目標を教えてください。

2023年のラグビーワールドカップでベスト4に入りたい。そのために、今やるべきことを常に考えて行動し、前に進み続けたいと思います。2021年には海外のハイレベルなリーグに挑戦し、自分の力を伸ばしていきたいです。

―豊田市のみなさんへ、メッセージをお願いします。

今回のラグビーワールドカップでは、豊田市のラグビー熱をすごく感じました。その熱を冷めさせないためにも、支えてくれるみなさんへの感謝の気持ちを胸に自分を成長させていきます。トヨタ自動車ヴェルブリッツもトップリーグでさらに飛躍できるよう、ぜひみなさん応援してください。よろしくお願いします！

ためには自分自身ももっともっと強くなりたいといけない。次のワールドカップでより良い結果を残さないといけない。そんな気持ちに火がつきました。

また、今大会はラグビーの可能性をひしひしと感じた大会でした。ワンチーム、ノースサイドなどのラグビー文化が多くの人々の心を掴んで、それが日本中の盛り上がりにもつながったのでしよう。ラグビーが日本においてさらに発展していくことを感じました。

The goal is to get even better. Open new doors to a land of dreams.

Mr. Himeno Kazuki joined Toyota Verblitz to lead the Japanese rugby team as its captain. He contributed with his fierce play style at the Rugby World Cup, helping the team into the coveted quarterfinals. Mr. Himeno talks passionately about how each second playing rugby is an indispensable treasure. He strongly feels he needs to get even better. Mr. Himeno now aims to be in the top four at the Rugby World Cup 2023.

Rugby Athlete Himeno Kazuki's Profile

1994 Born in Aichi Prefecture
2017 Joined Toyota Verblitz and received Top League's accolade for Rookie of the Year and Best XV. Selected as a member of Japan's National Rugby Team.
2019 Starting player in all five matches at the Rugby World Cup 2019 tournament in Japan



ファンゾーンには、400インチの大型スクリーンが設けられ、豊田スタジアムの試合などを放映。国籍や応援しているチームなどの違いを超え、観客一体となって盛り上がりました。



国内外から集まるラグビーファンに試合以外の時間も楽しんでもらえるよう、豊田市駅を中心に市内各所でもおてなしイベントを開催しました。









RUGBY WORLD CUP 2019

【開催レポート】
豊田市全体が
熱気の渦に

熱気と感動に包まれた、 「一生に一度」の体験

豊田スタジアムでの試合をはじめ、スカイホール豊田でのファンゾーン、世界中のラグビーファンを歓迎するおもてなしイベントが賑やかに開催されました。

大会期間中、豊田市が熱気に包まれ、人々の心に一生に一度の思い出が刻まれました。

豊田スタジアム試合結果			
9.23(月・祝)	9.28(土)	10.5(土)	10.12(土)
 ウェールズ vs  ジョージア	 南アフリカ vs  ナミビア	 日本 vs  サモア	 ニュージーランド vs  イタリア
43 14	57 3	38 19	試合中止

※ニュージーランド・イタリア戦は、大型の台風19号の接近により残念ながら中止となりました。チームや観客、大会に関係するすべての人々の安全を最優先に考えた苦渋の決断でした。

Passion and excitement fuel the Once in a lifetime experience.

Toyota City held matches at the Toyota Stadium, Fanzone event space at Sky Hall Toyota, and other events to welcome rugby fans from around the world. Toyota City was full of excitement during the tournament, which will be cherished in the hearts of people as a once in a lifetime memory.





ラグビーワールドカップ2019が 遺したもの

ヴェルブリッツラグビー教室の様子

**RUGBY
WORLD
CUP
2019**

ミライにつながる
レガシー

ラグビーワールドカップ2019の招致・開催は、豊田市に様々なレガシー（遺産）をもたらしました。道路や駅前などのハード整備とともに、ボランティアプログラムなどのソフト事業も活発になり、まちの活性化、魅力向上につながっています。



ラグビーワールドカップ2019開催期間中、多くの人で賑わった芝生広場「とよしぼ」。現在も、まちなかの憩いの空間として利用されています。

誰もがイキイキ輝くまちへ
ラグビーワールドカップ2019開催を機に、豊田市はスポーツを「する」「楽しむ」「支える」環境を整えました。豊田スタジアムでは大型映像装置の増設やピッチ照明・音響設備の改修などを実施しました。

また、トヨタ自動車ヴェルブリッツの選手らが、タグラグビーを通じて、ラグビーの面白さを伝える「ヴェルブリッツタグラグビー教室（通称：タグブリッツ）」を開催するなど、市民がスポーツを楽しむ場を創出しました。

さらに、市内のスポーツイベントを支える「スポーツボランティアとよた（愛称：スポボラとよた）」を2020（令和2）年8月に設立。ボランティア同士が楽しく交流しながら活動することでス

賑わいあふれるまちへ
誰もが訪れたくなるまちを目指して、豊田市駅周辺を居心地の良い魅力的な空間へと整備。

駅前には開放的な芝生広場「とよしぼ」がオープン。人々の交流の場となっています。

移動が便利なまちへ
豊田北バイパス平戸大橋の整備、高橋の4車線化をはじめとした道路整備を行い、渋滞の解消など快適な交通環境を創出しました。

The Rugby World Cup 2019 left a profound mark on Toyota City. Inviting and hosting the Rugby World cup 2019 has given Toyota City a tremendous legacy (properties). This legacy comes in physical forms from renovations to Toyota Stadium to infrastructure such as arterial roads and bridges as well as abstract forms such as nurturing a desire to volunteer in sports. In the future, Toyota City will use this legacy in furthering more attractive urban development.



上) 豊田北バイパス平戸大橋 下) 4車線化された高橋



ラグビーワールドカップ2019の 感動を支えた“ONE TEAM”

**RUGBY
WORLD
CUP
2019**

市民ボランティアの
活躍

ラグビーワールドカップ2019開催中、豊田市はきらめく雰囲気にも包まれていました。そこでひとときわ輝いていたのが、ホスピタリティマインドに満ちたボランティアのみなさんです。ラグビーも豊田市も楽しんでほしいという思いを一つにして、あらゆる場面で活躍しました。



ラグビーワールドカップ2019
日本大会公式ボランティア
「TEAM NO-SIDE」

日本ラグビーが育んだ「ノーサイドの精神」のもと、日本やラグビーの素晴らしさを発信。全国12開催都市で合計約1万3,000人が採用されました。

部活でラグビーに熱中していた高校時代、豊田市がラグビーワールドカップの会場に決定。「自分が生まれ育ったまちに世界のラグビーが来るんだ！」と興奮しました。そんな経験から、大好きなラグビーに貢献したいという一心でボランティアに挑戦しました。ファンの案内誘導やゲートでのおもてなしに力を注ぎ、観客の方々との交流を楽しみました。ボランティアに参加して良かったことは、年齢、性別、職業などが異なる様々なメンバーと一つの目標に向けて取り組めたこと。ボランティア活動を通して柔軟性や相手思いやる姿勢を培うことができました。



ラグビーワールドカップ2019日本大会
公式ボランティア「TEAM NO-SIDE」参加

是安 佑飛さん



愛知県・豊田市独自ボランティア
「TRY FOR ALL スタッフ」

「世界一熱いラグビーを届けよう」という愛知・豊田の地元キャッチフレーズを体現するように、真心込めたおもてなしを実践。多くの人に笑顔を届けました。

主な活動内容は、豊田市駅周辺でのチラシ配りや道案内などでした。私は10人ほどのグループをまとめるボランティアリーダーを務め、仲間への声かけやフォローも大切にしました。心に残っているのは、海外の方々が道案内する時に英語が得意なメンバーにお願いするなど、仲間と互いに力を合わせて活動したこと。一人ではできないことも、みんなで協力すれば達成できる」と再認識しました。また、今回参加したことで、豊田市には観光スポットや名産品がたくさんあると実感。今後は観光分野のボランティアにも挑戦したいです。



愛知県・豊田市独自ボランティア
「TRY FOR ALL スタッフ」参加

白川 直美さん

“One Team”: Supporting the Sensation of the Rugby World Cup 2019

The atmosphere in Toyota City shined with excitement during the Rugby World Cup 2019. The brightest star was all of the volunteers who carried themselves with a mind toward hospitality. Citizens played an active part in every situation aiming to provide the visitors not only enjoying the competition but also the host City hospitality. Many of the people who actually volunteered expressed how they felt the importance of diversity by volunteering. They talked about how it was an invaluable once-in-a-lifetime experience. Their feedback demonstrated the way in which engagement and mutual support of so many people had greatly expanded their view and ability to take action.



Congratulations to the City's 70th anniversary!
As I grew up enjoying canoeing in the Yahagi River, I consider Toyota City to be my origin that nurtured me with care. After graduating high school, I moved to Slovakia where I train every day. I still feel at home when I return to the City as people of Toyota continue to cheer me, giving me strength. I will continue to dedicate everything to canoeing with the support of the Toyota City pushing my back. Thank you for your continued support and I hope you will continue to cheer me!

カヌー選手

羽根田 卓也 さん

PROFILE

1987(昭和62)年愛知県豊田市生まれ。朝日丘中学校、杜若高校卒業。ミキハウス所属。2008(平成20)年の北京オリンピックから3大会連続でオリンピックに出場。2016(平成28)年のリオデジャネイロオリンピックでは、カヌースラローム男子カナディアンシングルで銅メダルを獲得

市制70周年おめでとうございます。
小さい頃から矢作川でカヌーに親しんできた僕にとって、豊田市は今の自分を育んでくれた「原点」であり「母のような場所」です。高校卒業後はスロバキアに渡り、日々トレーニングに励んでいます。帰省した際には、地元の方々から「頑張ってるね!」といった応援の言葉をかけていただくなど、いつも自分に力を与えてくれる大切なふるさとです。

これからも、ふるさと豊田市からの声援を力に、全てを懸けて競技に取り組んでいきたいと思っています。皆さん、今後とも応援よろしくお願います!!



Origins of WE LOVE TOYOTA
Aiming to be the World's Most Enjoyable and Exciting City

The Toyota Genki Project began in March 2009 to overcome stagnation in the local economy caused by the 2008 financial crisis and raise citizen awareness. The motto used for this project was WE LOVE TOYOTA. Today, these words are used more broadly to reaffirm the love and pride people feel for this amazing city, which we will pass down to the next generation. In April 2017, an ordinance was enacted to strengthen WE LOVE TOYOTA in Toyota city. Every single resident strive to build the world's most enjoyable and exciting city.

みんなで取り組む
「WE LOVE とよた」とは?



「わくわくする世界一楽しいふるさと」を目指して

2009(平成21)年3月に始まった豊田市の地域経済活性化プロジェクトで、合言葉として使われた「WE LOVE とよた」。現在は「まちの魅力を市民が再認識し、愛情と誇りを持って、次の世代に引き継いでいく」というさらに広い意味で使用されています。2017(平成29)年には「WE LOVE とよた」条例を制定。市民一人一人がまちを楽しみ、愛情と誇りを持つことで、「わくわくする世界一楽しいふるさと」を目指していきます。

スペシャルサポーターからのメッセージ

全国的に有名な人を「WE LOVE とよたスペシャルサポーター」に任命し、豊田市の魅力を全国や世界に向けて発信しています。



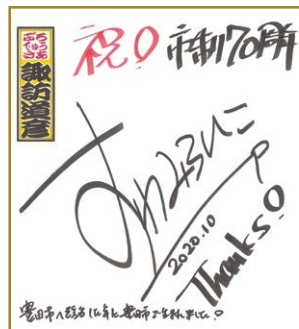
Congratulations to Toyota City for its 70th anniversary!
I learned at school that in 1959, the year I was born, the name of the City was changed from Koromo City to Toyota City. That means that both Toyota City and I are 61 years old! I am very happy to be able to celebrate the 70th anniversary of the founding of Koromo City, Toyota City's predecessor. When I was in elementary school, I learned from Akarui Toyota City, a textbook on the local area, that the shape of Toyota City is reminiscent of a human. Is it only me who thinks that it looks like a healthy dinosaur with the spread to the northeast?
My childhood home that I am able to return to still remains. When I do return, I am able to take in views of Mt. Sanage and Mt. Rokusho as well as enjoy looking at the surface of the Yahagi River. I sincerely hope for the further development of Toyota City, my hometown that doesn't lose its attractiveness.

アニメプロデューサー

諏訪 道彦 さん

PROFILE

1959(昭和34)年愛知県豊田市生まれ。ytv Nextry専務取締役、アニメ企画プロデューサー。読売テレビ入社後、「名探偵コナン」「シティーハンター」「YAWARA!」「金田一少年の事件簿」「犬夜叉」「ブラック・ジャック」など数多くのアニメをプロデュース。2021(令和3)年は「半妖の夜叉姫」、劇場版「神在月のこども」を担当中



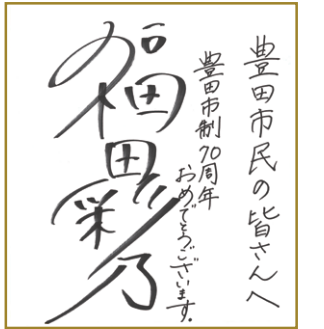
Congratulations to Toyota City for its 70th anniversary!
Born and raised in Toyota, I spent much of my youth in this City. So for me, Toyota City is my hometown that I have many memories of and cherish. If I reflect on summers when I was young, I remember that it was normal to go out together with my father at 5 am to Mt. Sanage to catch rhinoceros beetles and stag beetles. In spring, I often played with my sister on the animal-themed playground equipment at Shirahama Park along the Yahagi River. If we made our way to Toyotashi Station, we would be sure to find croquettes at Matsujo. I really enjoyed eating them together for dinner together with my mother's stir-fried spinach. I became aware of the great things Toyota has to offer when I was away. After I was nominated as a We Love Toyota Special Supporter in 2015, I participated in the Toyota Oiden Festival and other events which really made me come to know the charm of the City. The chicken impersonation I did with Mayor Ota was unforgettable! I hope that Toyota City, the place many of my family members, friends, and colleagues that I love call home, will continue to develop in the future.

タレント

福田 彩乃 さん

PROFILE

1988(昭和63)年愛知県豊田市生まれ。2009(平成21)年デビュー後、現在まで多数の番組に出演し、現在は東京や地元愛知県で番組MC・ナレーション・コメンテーターを務める。2020(令和2)年に一般男性との結婚を発表





Congratulations on the 70th anniversary of Toyota City!
Born and raised in Toyota City, I have many memories of my hometown. The Toyota Oiden Festival was a particularly memorable part of growing up in Toyota City. Back in the day, I was very shy, so I wasn't able to directly participate and dance, but I looked forward to seeing it every year. I was never able to get the festival's song "Oiden Mirin O-do-roma-i" out of my head, and I still hear this song in my dreams. I love it that much. Although I am not currently living in Toyota as I have been living in Tokyo for many years, my childhood memories make me feel happy. When I sometimes return to my hometown, I get "recharged" which encourages me to again work hard in Tokyo.
For me, my hometown of Toyota City is a really important place. As a We Love Toyota Special Supporter, I want to continue to promote Toyota City.

お笑い芸人 よしこさん (ガンバレルーヤ)

PROFILE

1990(平成2)年愛知県豊田市生まれ。藤岡中学校卒業。
2012(平成24)年にお笑いコンビ「ガンバレルーヤ」のボケ担当としてデビュー。顔モノマネで人気を博し、バラエティー番組で活躍するほか、ドラマや映画にも出演

市制施行70周年おめでとうございます！
豊田市で生まれ育った私にとって、地元にはたくさんの思い出があります。特に印象に残っている出来事は、「豊田おいでんまつり」です。当時は恥ずかしがり屋な性格で、参加して踊る事は出来なかったのですが、毎年見に行くのが楽しみでした。「おいでんみりんっお〜ど〜ろま〜い〜」という曲が頭から離れなくて、今でも夢にこの曲が出てきます。それくらい大好きです。
今は、豊田を離れ、東京での生活が長くなっていますが、子どもの頃の思い出が、私に元気を与えてくれます。たまに地元に戻るとパワーチャージされて、また東京で頑張ろうと思えます。
私にとって地元豊田は本当に大切な場所です。これからも「WE LOVE とよた」スペシャルサポーター」として豊田市をPRしていきたいと思っています！

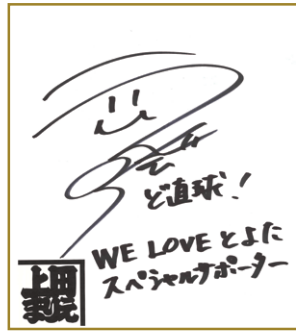


I became a citizen of Toyota City at 1:00 am on February 1, 2017. Although it was a freezing cold night, a janitor gave me a warm welcome. At that time, I was in charge of a live broadcast program 5 to 6 days a week in Tokyo, so I started my newlywed life living away from my husband who was residing in Toyota City. It was Toyota City that taught me the happiness of having a place to return to. Toyota is a place where people can live with peace of mind, lead tranquil lives, can feel a sense of history from the City's rich nature, and serves as a door to the future that you can feel nearby. I think Toyota is a one-of-a-kind city where everything is in harmony. Although I am currently living in Tokyo due to my husband's job transfer, I am looking forward to the day when I can see you all again and say, "I'm home!"
Congratulations on the 70th anniversary.

タレント 上田 まりえさん

PROFILE

1986(昭和61)年鳥取県境港市生まれ。2009(平成21)年日本テレビにアナウンサーとして入社。2016(平成28)年1月末に退社し、タレントに転身。現在は、タレント、ラジオパーソナリティ、ナレーター、MC、スポーツキャスター、ライターなど幅広く活動中



2017年2月1日深夜1時、私は豊田市民になりました。凍えそうなほど寒い夜でしたが、守衛室の方が温かく迎え入れてくださいました。当時、東京で週5〜6日生放送の番組を担当していたため、豊田市在住の夫と別居婚という形で新婚生活をスタートさせました。帰る場所があることの幸せを教えてくださいましたのは豊田市でした。
安心して暮らせる街。生活する人の穏やかさ。豊かな自然から感じる歴史。近くに感じる未来への扉。すべてが心地よく調和されているオンラインワンの街であると思います。
夫の転勤により現在は東京で生活していますが、また「たっだいま！」と皆様にお会いできる日を楽しみにしております。
市制70周年、おめでとうございます。



Warmest congratulations on the 70th anniversary of Toyota City.
As our company's baseball club, we won the 2016 Intercity Baseball Tournament. We later reported the victory to the citizens of Toyota City during the Toyota Oiden Festival and participated in the festival parade. This remains a great memory for all of us in the baseball club. Last year, our team was appointed as a We Love Toyota Special Supporter. Therefore, we will continue to devote ourselves to allowing Toyota City to be known at major venues nationwide. In addition, we would like to contribute to promoting sports in Toyota City by holding baseball classes for citizens. In closing, our baseball club looks forward to your continued support and encouragement.

トヨタ自動車 硬式野球部

PROFILE

1947(昭和22)年創部。1963(昭和38)年に豊田市代表として都市対抗野球大会初出場、1989(平成元)年の初勝利以降、全国強豪チームへと成長。都市対抗野球大会優勝1回。日本選手権大会優勝5回



市制施行70周年を迎えられ誠にありがとうございます。

弊社硬式野球部として2016年に都市対抗野球大会を制し、「豊田おいでんまつり」にて市民の皆様へ優勝報告ならびにパレードへの参加をさせて頂いた事が今でも野球部一同良い思い出として残っております。

2019年にWE LOVE とよたスペシャルサポーターに任命して頂き、これからも豊田市を全国の大舞台に発信できるように精進いたします。また、市民向けの野球教室の開催等を通じ、豊田市のスポーツ推進にも寄与していきたいと考えております。最後になりますが、これからも弊社硬式野球部へのご支援・ご声援の程よろしく願いたします。



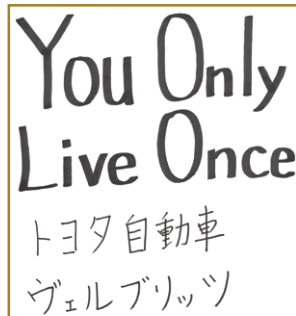
Congratulations to Toyota City for its 70th anniversary.
The Toyota Rugby Team Verblitz has a long history together with Toyota City. The team is always warmly supported by the citizens of the City, and for this I would like to express my deepest thanks.
Together with Toyota City, we have been promoting the development of healthy young people through activities at the rugby academy, tag rugby school (Tag Blitz), etc. Also, the match at Toyota Stadium during the 2019 Rugby World Cup was very exciting, and I think we were able to show the world the hospitality that Toyota City has to offer.
We will continue to devote ourselves to becoming the best rugby team in Japan and strive to become a team that is loved by everyone in the local community. Thank you for your continued support.

トヨタ自動車 ヴェルブリッツ

PROFILE

1941(昭和16)年創部。ジャパンラグビートップリーグに加盟するラグビーチーム。練習グラウンドは保見町にあるトヨタスポーツセンター。日本選手権優勝3回

市制施行70周年おめでとうございます。
トヨタ自動車ヴェルブリッツはこれまで豊田市と共に歩み歴史を重ねてきました。市民のみなさまにはいつも温かく応援して頂き、誠にありがとうございます。
豊田市とはラグビー教室(タグブリッツ)や産官学一体となった豊田スポーツアカデミーなどの活動を通して、健全な青少年の育成を一緒に推進してきました。また2019年に行われたラグビーワールドカップの豊田スタジアムでの試合は大変盛り上がり、豊田市のおもてなしを世界に示すことができたと思います。
今後ラグビーで日本一になれるよう精進していくとともに、地域のみなさまに愛されるチームになっていきたいと思っていますので、引き続き応援よろしく願いたします。





タレント

里園侑希 さん



PROFILE

豊田市出身のタレント。豊田ご当地アイドルStar☆T初代リーダー。“I LOVE 豊田”の精神で、豊田市を中心に司会・ラジオパーソナリティ・モデル等、マルチに活動。交通安全啓発事業も展開中

市制施行70周年おめでとうございます。私は地元豊田市で司会・ラジオパーソナリティとして活動しています。やすらぎと感動を与えてくれる美しい自然、世界に誇れるものづくり、笑顔で溢れる地元の人々、そんな豊田市が大好きです。これからも豊田市の魅力を市民の皆さんと共有しながら全世界へと発信していきたいと思います。今後とも宜しくお願いします。

Congratulations to Toyota City for its 70th anniversary. I am working as a presenter and radio personality in my hometown of Toyota City. I love Toyota, a city with beautiful nature that offers both tranquility and excitement, a manufacturing industry that citizens can be proud of even on an international level, and locals who always have smiles on their faces. My intention is to continue to share the charm of Toyota City with its citizens and let the world know about the City's charm as well. Thank you for your continued support.



シンガーソングライター

TUT-1026 さん

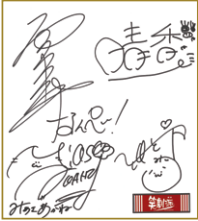


PROFILE

豊田市出身のシンガーソングライター。2008(平成20)年にアルバム『エブリバディー』をリリースしてデビュー。現在も地元豊田市から全国に向けてメッセージを発信中

イエイイエイ！豊田市制施行70周年おめでとうございます！都市部と自然のバランスの取れた優れた街、ここ豊田市に生まれ育ったことを非常に嬉しく思うと同時に大変誇りに思ってます。成長を続ける素晴らしい街「豊田市」を市民の皆様と共に全国に知って頂けるようこれからも活動していこうと思います。WE LOVE とよた！！

Yaaay! Congratulations to Toyota City for its 70th anniversary! Toyota is a city with good balance of urban and natural charms. I feel gifted that I grew up in the City and pride myself for being so. I hope to let everyone know more about the great city of Toyota across Japan with all the citizens. WE LOVE Toyota!!



劇団

笑劇派



PROFILE

1998(平成10)年9月に旗揚げし、今年で23年目を迎える。2017(平成29)年に劇団を法人化し、全国へ出張公演を展開。平戸橋町に専用劇場があり、「平戸橋ばしっとライブ」を開催中

豊田市制70周年心よりお祝い申し上げます。生の舞台から笑いと感動をお届けします！をモットーに、多くの学校や地域自治体にお招きいただき、旗揚げ23年、市民の皆様が私たちを育ててくれました。豊田市をもっと元気に！もっと笑いあふれるまちにできるよう、座員一同力を合わせて頑張っていきたいと思います。ご声援宜しくお願いいたします。

We would like to sincerely congratulate Toyota City for its 70th anniversary. With the motto "We deliver laughter and excitement from a live stage!" our theater group has been invited to many schools and local communities. The citizens of Toyota City have nurtured us since our group was founded 22 years ago. Let's make Toyota a more lively city! All the members of our theater group would like to do our best to make Toyota City a place where people can laugh more. Thank you for your support.



マジシャン

ミステリック
SHINYA さん



PROFILE

テーブルマジックからインパクトのあるステージマジックや人体切断など大掛かりなイリュージョンマジックまで幅広く行う。東海地区を拠点に日本全国で活動中

市制施行70周年おめでとうございます。僕は東海地区を拠点にマジシャンとして日本全国で活動しております。僕はこの豊田市で生まれ、育ちました。地元の風景が大好きで遠征から帰って見慣れた景色を見るたびにいつも安心します。そんな大好きな地元を盛り上げていけるように何事にも全力で取り組んでいきたいと思います。

Congratulations to Toyota City for its 70th anniversary Based in the Tokai Region, I am active all over Japan as a magician. Born and raised in Toyota City, I love the local scenery and always have peace of mind every time I return from a tour and see the local scenery that is familiar to me. I would like to do my best to invigorate the hometown that I love.



Congratulations on the 70th anniversary of Toyota City!

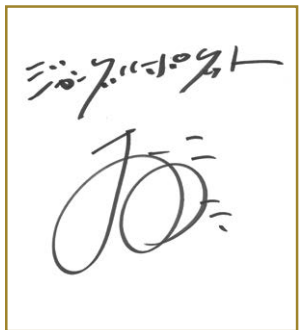
Toyota City is my hometown that I cherish, filled with memories of my youth where I lived until I was 22 years old when I went off to Tokyo to become a comedian. Especially at the Koromo Festival, which I have passionately participated in since I was a child, I learned various things such as how to play a musical instrument to the best of my ability, the joy of cooperating with people and preparing for success, and how elders want their tea. Although I am not currently living in Toyota as I have been living in Tokyo for many years, memories with my friends and seniors while living in Toyota City still make me feel energetic. As a We Love Toyota Special Supporter, I would like to continue to promote Toyota City, the City that made me who I am, so that I can give back as much as possible! I will support the further development of Toyota City!

お笑い芸人

太田 博久さん
(ジャングルポケット)

PROFILE

1983(昭和58)年愛知県豊田市生まれ。2006(平成18)年にお笑いトリオ「ジャングルポケット」を結成し、リーダーを務める。高い運動能力を発揮し、全日本マスターズレスリング選手権大会で日本代表に選出されるなど幅広く活躍中



サポーターズからのメッセージ

「WE LOVE とよたサポーターズ」は、主に市内のイベントなどで、市の魅力や「WE LOVE とよた」の取組をPRしています。



豊田ご当地アイドル

Star☆T



PROFILE

2011(平成23)年ステージデビュー。以後豊田市を中心に東海地区～全国、海外でライブイベント、テレビ・ラジオに出演。全メンバー豊田市在住。詳しくは「豊田」「アイドル」で検索

市制施行70周年おめでとうございます。私たちは豊田ご当地アイドルとして、豊田の“元気”と“魅力”を全国に発信しています。私たちも2021年にデビュー10周年を迎えます。これまでの市民のみなさんの応援に感謝します。これからも豊田市とともに20年30年と活動を続けて、みなさんを“笑顔”にしていきたいと思います！

Congratulations to Toyota City for its 70th anniversary. As local idols from Toyoda, we are letting the entire country know about Toyota's "vitality" and "charm." As a group, we will also celebrate the 10th anniversary of our debut in 2021. We thank all the citizens of Toyota City for all the support they have given us so far and would like to continue working with Toyota City for 20 to 30 more years to put smiles on everyone's faces!



シンガーソングライター

うたれん



PROFILE

「寄り添える音楽をあなたに」をキャッチコピーに活動するシンガーソングライター。豊田市内の観光PRソングや、ご当地アイドルへの楽曲提供など、多岐にわたり活動中

豊田市制施行70周年おめでとうございます。豊田市内8観光協会合同PRソングを歌っています、うたれんです。市民の皆さんがいつでも笑顔で、自分の思う活動が出来る豊田市をこれからも応援させていただきます。学生の頃より過ごした豊田市が楽しい街になれるよう、微力ではありますが、これからも音楽でサポートさせていただきます。

Congratulations to Toyota City for its 70th anniversary. My name is Utaren, the singer of the promotional song for Toyota City Eight Tourism Associations Union. I will continue to support Toyota City, a place where citizens can always smile and be themselves. Having spent time in Toyoda City as a student, I will continue to support the City through my music, even in a limited capacity, to make it an enjoyable town.



WE LOVE 豊田スタジアムの公園

夏は思いっきり水遊びができる！

山本まどかさん
喜介くん



「わたしの好きなとよた」

豊田市在住・在勤・在学の70組に、
とよたの好きなところを聞きました。



WE LOVE 名古屋グランパス

子どものサッカーに付き合う
うちにグランパスLOVE！
大ファンです。

伊藤輝幸さん



WE LOVE 下山わくわく ファーム

下山に来ればやぎがいるよ。

祖父江聡明さん



WE LOVE ラグビー

ワールドカップ最高のゲー
ムでした。良いボランティア
ができました。

末廣幸二さん



WE LOVE 白浜公園

娘や愛犬と散歩に利用して
います。自然いっぱい、風も
気持ちいいです！

伊藤真貴さん
宇美ちゃん



WE LOVE 自然(香嵐渓)

一年中、自然が楽しめるこ
ろが大好きです。

中田みなみさん
奏くん



WE LOVE 挙母祭り

山車を曳き廻した後の感動
がやめられません！

青木輝文さん



WE LOVE 豊かな自然

気分転換として西山公園で
よく散歩しています。

塚本浩子さん



WE LOVE 足助の竹

足助は古くから竹の産地で
した。種類も多くとても質の
良い竹が育ちます。

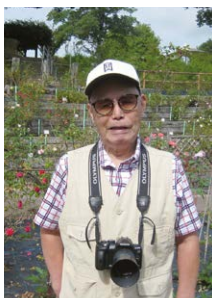
梶達也さん



WE LOVE 豊田市消防団

親子で歌って踊って、防火・
防災啓発活動ができる消防
団が好き！

加藤聖加さん



WE LOVE 高月院と 松平東照宮

松平家発祥の地を訪ね、寺
院参詣と美しい花の観賞を
楽しんでいます。

中村千明さん



WE LOVE 佐切小学校の うさぎ

佐切小学校で飼っている
うさぎがかわいい！！

市川明くん



WE LOVE 枝下用水

これからも枝下用水130年
の歴史を掘り起こしてい
きます！

達志保さん



WE LOVE フルーツ

都市と自然が融合した豊田
市には、季節の恵みがたく
さんあります。

藤田豊さん
蓮太郎くん



WE LOVE 豊南

自治区ごとに高齢者クラブ
が組織され、地域の核として
役割を果たしています。

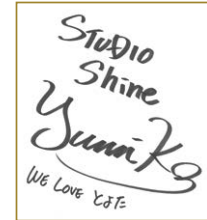
稲垣令一さん



WE LOVE 自然

豊田市にはきれいな公園が
たくさんあります。

山田麻衣子さん
栞鳳ちゃん



ダンサー

YUMIKO さん



PROFILE

STUDIO Shine代表。市内でダンススクールを運営。自身もインストラクターとして活動するかわらモデルとしても活動中。趣味は愛犬と一緒に旅行すること

市制70周年おめでとうございます。豊田市でキッズダンススクールを始めて約15年。地元イベントに毎年出演させていただき、地元の人々との交流を深めてきました。駅前再開発も進み「あそべるとよた」をスローガンに街全体で盛り上げている豊田市をとっても誇りに思います。ますます発展できるようサポーターズとして頑張っていきたいです。

Congratulations to Toyota City for its 70th anniversary. It has been almost 15 years since starting a kid's dance school in Toyota City. I have been fortunate to be invited to various local events every year and interact with the people of Toyota. I cannot stop to praise the efforts of the City to vitalize the entire city through the Asoberu Toyota Project which capitalize the re-development of area around the station. I will do my best as a supporter to contribute to the further development of the City.



アミューズメントチーム

D.O.M

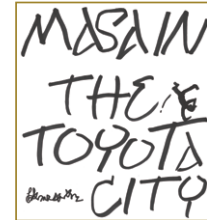


PROFILE

2010(平成22)年に結成した、ふれあい型マイケルジャクソンアミューズメントチーム。「Just for the Smile -ただそこにある笑顔のために-」を理念に掲げるエンタメ集団

市制70周年おめでとうございます。生まれ育った街の記念すべき時に、サポーターズとしてここにいられることを大変幸せに思います。僕たちちたいたい小さな光にも、注目して挑戦させてくれるこの豊田市は、最高にイカした場所です。これからも、小さな笑顔を取りこぼさないパフォーマーとして、貢献していきます。

Congratulations on the 70th anniversary of Toyota City. We are very happy to be here as supporters at a memorable time in the City where we were born and raised. Toyota City is really the coolest place as it gives up and coming performers like us a chance. We will continue to contribute to the City as performers who will appreciate even the slightest level of satisfaction displayed by listeners.



ダンサー

松田政大 さん
(MASA)



PROFILE

2005(平成17)年より豊田市内にあるDCO DANCE STUDIOの代表。ダンス歴20年以上、指導歴15年以上という実績のもと、ダンサー、振付師、インストラクターとして活動中

市制施行70周年おめでとうございます。豊田市は、国際的な企業が多いせいか他の地域や海外から来た方々に対しても受け入れる姿勢があり、包容力のある街だと思います。工業都市のイメージが強いと思いますが、自然豊かで歴史も深い、人も温かく私の大好きなこの豊田市を、国内外から来られた方々にも好きになってもらえる様、尽力いたします。

Congratulations to Toyota City for its 70th anniversary. I think Toyota City is an inclusive city with a willingness to accept people from other regions and overseas, most likely because there are many international companies located in the City. Although I feel that it has a strong image of being an industrial city, I will do my best to make my beloved Toyota City, which is rich in nature, has a long history, and is home to warmhearted people, to make it popular among people from Japan and abroad.



ラジオパーソナリティ

甲田陽子 さん



PROFILE

豊田市在住の主婦パーソナリティとして活躍。昼の情報番組「ひる♡らぶ」火曜日と、日曜日「THEラフィート演芸『楽市・落語』」のアシスタント担当。ラジオから笑いをお届け中！

豊田市70歳おめでとうございます！70年という時間の流れの中では、ほんの僅かな時間になると思いますが、声や音楽を通して多くの人との繋がりを感じています。これから先80年、100年と、時を重ねた豊田市が、今まで以上に、たくさんの人の笑顔と笑い声と音楽に溢れた場所になっていますように！ 私たちも未来に向かって声をお届けしていきます♪

Congratulations to Toyota City for turning 70! Although we think of our years active as being a short time in comparison to a period of 70 years, we feel a connection with many people through voice and music. We hope that Toyota City will become a place full of smiling people, laughter, and music for the next 80 and even 100 years! We will also make our voices heard for the future ♪



WE LOVE 総合診療

子どもからお年寄り、病院から在宅医療まで、豊田市の医療を支えます！

近藤敬太さん



WE LOVE 子育てに 優しいまち

豊田市は公園や子育てに關するサポートが充実しています。

内山広子さん



WE LOVE 自然

猿投町や福受町で採れるフルーツがおいしい！

村松朋樹さん
かのりさん



WE LOVE 豊田地域 医療センター

豊田市を医療の面から健康で幸せなまちにしていきたいです。

大杉泰弘さん



WE LOVE 桃

選果場でお安く買える桃が最高においしいです。

藤井亮児さん



WE LOVE 西山公園

緑が一杯！

加根魯澄夫さん



WE LOVE 鞍ヶ池公園

春夏秋冬、いつも子どもたちと遊びにいきます。自然最高！！

上山莉央さん



WE LOVE 勘八・平戸橋

子どもたちを心豊かに育ててくれた場所です。

花村善照さん



WE LOVE 足助のまちなみ

足助の昔ながらの細道や自然たっぷりの雰囲気大好きです！

砂川由佳莉さん



WE LOVE 地元の友達

40年以上住んでいる中で、地元の友達とのつながりが大切だから。

千賀年紘さん



WE LOVE 中央公園

いつも公園の遊具で楽しんでいます！

石井梨紗ちゃん



WE LOVE 梨

娘が大好きです。猿投の梨を食べるのが楽しみです。

牛津梨紗さん
芙々季ちゃん



WE LOVE SENTAN

社会に役立つ新しいものをつくるために日々活動しています。

戸鹿島裕也さん



WE LOVE おいでん花火

花火をつまみにビールサイコー！！

中村由美さん



WE LOVE 豊田のお米

農家の皆さん、いつもおいしいお米をありがとう！

不破菜津子さん



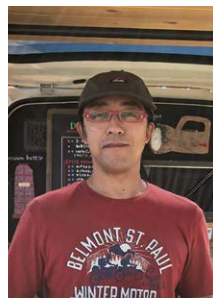
WE LOVE トヨロック

無料なのはすごすぎる！自慢です！

学校

先生が好き。友達たくさん。

千賀加奈子さん
茉凜ちゃん



WE LOVE いとカフェ

オリジナルクラフトコーラを飲みに来てください。

伊藤文彰さん



WE LOVE 山河に囲まれた 美しいまち

交通アクセスを充実させ、日本一の住み良いまちづくりが行われていると感じます。

都築孝良さん



WE LOVE 豊田市民の誓い

緑や山河が多く、豊かな文化があり、あたたかい住みよいまちが最高。

村田美智子さん



WE LOVE 香嵐溪

いつもの散歩ルートです。空気がおいしくて、四季折々の魅力があります。

齋藤卓也さん



WE LOVE さんそん

豊田市の自然が大好き。

岩瀬浩司さん



WE LOVE 自動車

お父さんが自動車をつくっています！！

市川大智くん



WE LOVE RADIO

豊田のラジオ局「エフエムとよた」は面白い番組ばかり！ぜひ聴いてください。

藤井良紀さん



WE LOVE 五平もち

下山の五平もちがおいしくて大好き！

中倉絵莉さん
凜ちゃん



WE LOVE 地域文化広場

子どもと室内アスレチックで遊んでいます。

外山恵理子さん
翔大くん



WE LOVE 住みやすい街

都会的な所と自然がバランスよくあり、子育て支援も充実しています。

岡田智貴さん



WE LOVE 鞍ヶ池公園

自然いっぱい一日中遊べます。

平澤佑子さん
晴斗くん



WE LOVE EAT

なし・もも・お米など、豊田市産のものを給食に使ってくれてありがとう。

宇井千春さん



WE LOVE 交通公園

(豊田市交通安全学習センター)
SLやゴーカート、いろいろな自転車に乗ってたくさん遊べる大好きな場所です。

西山有美さん
航平くん



WE LOVE Fujioka

藤岡地区は空気がおいしいです！

郡山真喜子さん



WE LOVE ちょうどいい

車でも、電車でも、徒歩でも、住むにも、仕事にも、子育てにもちょうどいいところ！

市川暢啓さん



WE LOVE 四季桜

見るのが楽しい！

鵜飼淳子さん



WE LOVE 猿投神社

毎年、猿投神社でおいしいはちみつを採取しています！

酒井茉由さん



WE LOVE とよた里山

日本古来の古き良きまち、緑あふれる田園風景の中で仕事をしていると心洗われます。

田中都恵さん



WE LOVE 豊田大橋

未来都市にきた感じ。スタイリッシュで散歩にも最適です。

太田喜久夫さん



WE LOVE ライフ

環境が良く住みやすい豊田の生活が大好き！

神戸哲さん



ミライへの 挑戦

「ミライのフツ」とは

持続可能な社会に近づいているであろう、少し先の未来。そこで当たり前になっているモノ・コトを「ミライのフツ」と捉え、その実現に向けて豊田市は先進的な取組を推進しています。

2013(平成25)年～ミライのフツを目指そう



「ミライのフツを目指そう」をスローガンとして、「ハイブリッドシティ・とよたプラン」をベースに交通・産業・森林・都心・民生の5分野を中心に未来志向のプロジェクトを推進しました。

2018(平成30)年～ミライのフツをつくろう



2018(平成30)年にSDGs未来都市に選定されたことを機に、スローガンも「目指そう」から「つくろう」へとステップアップ。構想するだけでなく、実際にアクションしていこうという意志が込められています。市民、企業・団体、行政がつながり合って、SDGs達成に向けて行動を起こしています。

「ミライのフツ」の実現に向けたアクションの事例をご紹介します。

- P.31 **Action 1** モビリティのミライ
- P.32 **Action 2** ものづくりのミライ
- P.33 **Action 3** 地域づくりのミライ
- P.34 **Action 4** いなか暮らしのミライ

Toyota City : A City of Continuous Progress

In 2009, Toyota City was selected as Environmental Model City that aim to realize a low-carbon society by the Japanese government. Since then, we have aim to become a environmental city where people, nature, and technology are in harmony by conducting various activities focusing on five pillars of Traffic, Industry, Forrest, Urban Center, and Residential based on the Hybrid City Toyota Plan. The City was also selected as SDGs Future City in 2018 as a leading municipality in tackling the SDGs. As we take on this new challenge, Toyota City will continue to strive toward creating a "Future City Toyota" where everyone can enjoy their lives based on the slogan of "The Standards of Tomorrow, Today".

ミライのフツをつくろう

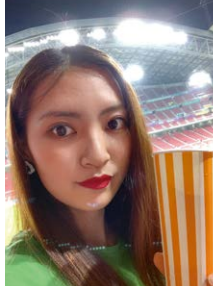
豊田市は2009(平成21)年、低炭素社会の実現を目指す「環境モデル都市」として国から選定されました。以来、「ハイブリッドシティ・とよたプラン」のもと、「交通」「産業」「森林」「都心」「民生」の5分野を軸に多様な取組を進め、人と環境と技術が融合する環境先進都市を目指してきました。そして、2018(平成30)年、SDGsに先導的に取り組む自治体として「SDGs未来都市」にも選定され、新たな一歩を踏み出しています。SDGsとは、国連で採択された持続可能な開発目標のことです。貧困や差別の撲滅、気候変動対策など、世界中の人々が丸となって達成すべき17の目標が定められています。豊田市は「ミライのフツをつくろう」を合言葉に、誰もが心豊かに生きられる「SDGs未来都市とよた」の実現に向けてチャレンジを重ねています。

WE LOVE

あいあい

(とよた子育て総合支援センター)
木のおもちゃがたくさんあって楽しいです。

武田彩乃さん
隆玄くん



WE LOVE

豊田スタジアム

スポーツ観戦やライブ等各种イベントが行われる豊スタが大好き！

小笠原悠さん



WE LOVE

Toyota

自然が豊かで、地域の皆様が温かいToyotaが大好きです。

川上竜一郎さん



WE LOVE

松嶋会

(荒井町高齢者クラブ)
今の私があるのは、この松嶋会のおかげ。松嶋会に入会し、地域貢献ができたと思います。

田中桂子さん



WE LOVE

名古屋グランパス

ホーム試合は毎回スタジアムで応援してます！！

上田梨奈さん



WE LOVE

anam

人や地球にやさしいお買い物ができる！

稲熊なつみさん



WE LOVE

みどりがいっぱい

子ども達とピクニックをよくしています。

柴田磨奈さん
優花ちゃん



WE LOVE

Toyota Street Market

多くの人が集まる、賑やかなイベントが大好き。

平翔次さん



WE LOVE

鞍ヶ池

子どもが遊べるところがたくさん！

倉地沙代子さん
恵麻ちゃん



WE LOVE

ふじの回廊

ふじの花と香りに包まれながら、多彩なイベントを楽しめるので毎年見に行っています！！

久太才讓さん



WE LOVE

香嵐溪

新緑や紅葉などの綺麗な景色が見られるので大好きです！

加納嘉乃さん



WE LOVE

TIA

(豊田市国際交流協会)
日本人も外国人もみんなで作る、あたたかい街・豊田。

豊田彬子さん



WE LOVE

休日

飲食店などが集まっていて、おいしいものがたくさん！

餅原正宗さん



WE LOVE

やすらぎの里 古瀬間

御嶽神社の山頂から見渡す景色、満開に咲くつつじは、まさにやすらぎの里。

久米光春さん



WE LOVE

桜城址公園

城址や桜の木がある、とよたのまちなかの憩いの場。マーケットもあります。

中井久美さん



WE LOVE

鞍ヶ池

動物園などいろいろなものがあるところがお気に入り！

市川等作さん

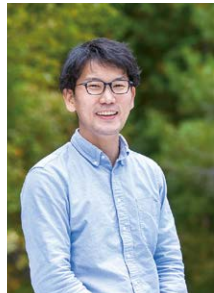


WE LOVE

やまのぶ

高校時代、学校帰りによく行きました。

栗津雅耶さん



WE LOVE

どんぐりの湯

露天風呂でゆったりとした時間を過ごしています。いつもありがとうございます！

佐野琢也さん

ものづくりのミライ

Action 2

ものづくり創造拠点 SENTAN

ミライへの

挑戦



ものづくり創造拠点SENTANでは、ものづくり企業のOBがテクニカルスタッフとして、長年の経験に基づく知識や技術、ものづくりへの情熱を若者たちに伝えています。

【NEWS】

新たな水素ガスの製造方法を 塾生たちが発明

「ものづくりミライ塾」第1期生水素チームの塾生と指導員が、家庭用水素発生・発電装置の開発過程で「新たな水素ガスの製造方法」を発明しました。豊田市が特許を出願し、2020(令和2)年6月に三河地域の自治体では初となる特許権を取得しました。

Cultivating people inspires innovation.

Monozukuri Creative Base SENTAN is a hub for people working in manufacturing as well as entrepreneurs and companies looking to develop new projects and businesses. This hub offers Future Monozokuri Workshop which young technical staff from various industries engage in product development while also holding seminars and training to spark children's interest in manufacturing and various other events to develop human resources entrusted with the future of Toyota City. These efforts are only possible because of Toyota City's deep ties to manufacturing. SENTAN is nurturing potential today for new innovation tomorrow.

人づくりが、 イノベーションを起こす

ものづくり関連の仕事に就く人や起業を志す人、団体などが集まる場所「ものづくり創造拠点SENTAN」。人やアイデアをつなげる「交流スペース」、アイデアをカタチにする「ものづくりスペース」のほか、セミナー、出、試作開発、情報発信、人材育成などに活用されています。2019(令和元)年度の利用者は1万2,000人以上、登録団体は2020(令和2)年10月末時点で53団体。利用者・登録団体ともに年々増加しています。

一つの時代も、イノベーションを促すものは「人の発想力」。ものづくりにとって大切なことは「人づくり」です。そこで、SENTANでは、異業種の若手技術者が集まって製品開発に励む「ものづくりミライ塾」をはじめ、子どもを対象としたものづくりイベントなど、豊田市のミライを担うものづくり人材を育成しています。こうした取組は、ものづくりのまち豊田市だからこそできること。SENTANでは今日も新たなイノベーションの芽が育っています。

モビリティのミライ

Action 1

株式会社SkyDrive

ミライへの

挑戦



空飛ぶクルマの開発・実用化に挑む、株式会社SkyDrive代表・福澤知浩さん

TOPIC

福澤さんは「WE LOVE とよた スペシャル サポーター」としても活躍いただいています。



A new generation of mobility opens avenues to flying vehicles.

Flying vehicles that are being developed around the world are said to be an innovation in mobility after the birth of cars and airplanes almost 100 years ago. SkyDrive Inc. has been developing a flying vehicle right here in Toyota City. Repetitive development and flight testing of a one-fifth-size vehicle has succeeded in safe and stable flight as of 2020 through hundreds of trial flights in a manned flight model. SkyDrive will advance the development and commercialization of these vehicles in the future in an endeavor that hopes to delivery flying vehicles to the world from the automotive city of Toyota.

空飛ぶクルマが拓く、 「移動」の新時代

自動車や航空機以来、およそ100年ぶりのモビリティ革命といわれ、世界各国で開発が進められている「空飛ぶクルマ」。電力で動き、完全自律の自動操縦や垂直離着陸を特徴とする新しいモビリティです。日本におけるリーディングカンパニーは、株式会社SkyDrive。豊田市を拠点に、空飛ぶクルマの開発・実用化プロジェクトに取り組んでいます。2020(令和2)年8月には、足助地区にあるテストフィールドで空飛ぶクルマの有人飛行試験を世界初公開しました。

株式会社SkyDrive代表・福澤知浩さんは「豊田市は、新しいものづくりを後押しする環境が整い、地域の方々も応援してくれます。『空が日常的に使えるミライ』を見据え、革新的なエアモビリティを実現させます」と力強く語ります。次世代の産業分野として期待され、都市部の渋滞緩和、離島・山間部の移動手段、救急医療・災害対応などでの活用が想定される、空飛ぶクルマ。より快適で安心なモビリティのミライが、新たに拓かれようとしています。

いなか暮らしのミライ

Action 4

敷島自治区

ミライへの
挑戦



敷島自治区の宝物である、美しい田園風景と山並み。定住促進に力を注ぎ、山村振興が進んでいます。

山里の美しい風景を、 みんなで守り継ぐ

愛知高原国定公園の西端に位置する敷島自治区は、かつて市内で最も過疎の深刻な地域でした。この課題に対処するため立ち上がったのが地域住民たちです。2010（平成22）年に地域の将来ビジョンを策定した上で、空き家の整備や移住希望者との交流会の開催などを実施。10年間で40世帯98人の移住者を受け入れ、交流人口も年間5,000人に上りました。地域全体を巻き込んだ取組は、総務省が選定する「令和2年度過疎地域自立活性化優良事例表彰」の最高賞「総務大臣賞」に輝くなど、全国的にも高く評価されています。

移住者の多くは子育て世代で、山里の豊かな自然が気に入って移住しています。敷島自治区の美しい田園風景や山並み、文化などは、先人たちが農業や林業を営む中で形づくられてきた地域の宝物。その一つ一つを次代に残していくための活動も住民主体で行うなど、一人一人が「大好きな敷島自治区をより良くしていきたい」という思いを分かち合い、笑顔あふれるミライに向かって、新たなチャレンジを重ねています。

Everyone protects and passes down the beautiful mountain landscape.

The Shikishima District drafted the Shikishima Tokimeki Plan in 2010 as a brief on the future vision for the region. The local community has been engaged in efforts throughout the entire region such as repairing vacant homes and holding gatherings for people who would like to move to the area. In the past ten years, the plan helped 98 people move into 40 households and brought together 5,000 people annually at community exchange events. Every resident are united to better the Shikishima District and continue challenging to realize a future full of smiles.



「総務大臣賞」の受賞を市長に報告しました。

地域づくりのミライ

Action 3

つくラッセル

ミライへの
挑戦



Toyota creates a sustainable region unified as one.

Tsuku-Rasseru utilize schools that have closed as rental offices to expand relationships between people in the region. We hope to build a future where balance between work and life can be achieved as well as people can exert their talent and share it with each other. These sites also act as a Mountain Training Workshop with activities to promote the ultra-compact woodland mobility vehicles that support safe and secure travel in villages in mountainous regions, classes on chopping firewood from local forest trimmings, and education on traditional lifestyles and customs of the region.



旧築羽小学校の校舎を活用した、地域づくりを担う人材創造拠点「つくラッセル」

持続可能な地域を、 みんなで作る

旭地区の山あいには、佇む3階建ての建物は、少子化の影響で2012（平成24）年に廃校となった築羽小学校の校舎です。137年間の歴史ある学校は、地域みんなの拠り所でした。その大切な学び舎が2018（平成30）年、地域づくりを担う人材創造拠点「つくラッセル」として再スタートしました。

「暮らし」と「仕事」が両立できる。誰もが互いの得意を持ち寄って生かし合える。そんなミライを目指すつくラッセルでは、この地区に昔から住む人々、移住者、都市部の企業・研究機関など、多様な主体が関わり合って活動を展開。山村地域での安全・安心な移動をサポートする超小型モビリティ「里モビ」の普及活動、地域の間伐材を活用した薪づくり、地域に昔から伝わる生活や文化を学ぶ「山里手習い塾」などの拠点になっています。また、テレワーク環境も整備され、地域住民にとってライフスタイルの選択肢を増やす場所にもなっています。地域に根ざし、多くの人と人との関係を育んでいるつくラッセル。誰もが自分らしく輝ける地域のミライが、ここから築かれていきます。



英国

ダービーシャー県／ダービー特別市／南ダービーシャー市

The 70th anniversary of Toyota City.

A message from

Derbyshire County Council / Derby City Council / South Derbyshire District Council / and Toyota City Partnership Board

It is a great honour for the three sister councils in Derbyshire and Derby to be invited to make a contribution to this anniversary brochure. The friendship which all three share with Toyota City Council has deepened the cooperation between us; in 2018, to celebrate the 20th anniversary of our friendship with Toyota City we created the Toyota City Partnership Board.

This friendship has shown that we have a great deal in common. By getting to know each other better we have discovered more connections. Historically we both have silk production in our past. When your city was called Koromo it produced silk and we have the Derwent Valley Mills World Heritage Site running along 15 miles of the river Derwent which produced cotton and silk in the 19th century.

Now we both have close connections with the Toyota Motor Corporation and are both working with them on mobility innovations for the future.

We share with you a concern for environmental sustainability and a love of forests. You have the Forest of Toyota and we have the National Forest which covers part of our area. In the future we would like these forested areas to learn side by side and combat climate change together. We are also very fortunate to have been gifted 163 Sakura cherry trees by businesses in Japan as part of the Japanese Season of Culture in the UK. One hundred of these trees will be planted in public spaces in each of the three council areas so that we can begin to appreciate Hanami, and 63 schools will each have one tree. Through these trees we hope to grow the roots of a stronger friendship.

Over the 22 years of our friendship, school and college exchanges have created many opportunities for our young people and we look forward to starting these exchanges again when it is safe to do so. We are also planning to increase the range of opportunities using virtual technology so that younger pupils may also develop friendships. During Covid-19 our partner college, Burton and South Derbyshire College has developed a virtual platform and we will use these skills to create exchange experiences. In South Derbyshire the Repton School continues to have strong links with Toyota Nishi High School. We have also grown strong ties between the University of Derby and Chukyo University which are working together in a research collaboration on Nature Connectedness – the wellbeing we feel when we are connected to nature.

2019 was a year of rugby and we were very proud to be able to display something of our sporting heritage during the time of the Rugby World Cup in Toyota City. We have strong links with football and have been able to share some of this experience with visitors from Japan and to invite pupils from the Derbyshire Japanese School to walk England players out onto the Wembley Stadium pitch at the start of a recent international match. Shared sporting experience is at the heart of many friendships. This friendship is increasingly important to us as we face the future. We are living in a time of uncertainty and rapid change and we all need to work together to solve problems, learn from one another and make progress together. Only by reaching out do we become stronger. So this is a wonderful time to celebrate the 70th anniversary of Toyota City and stand proud to be counted as your friends into the future. We congratulate you.



ダービーシャー県(Derbyshire County)
代表者：バリー・ルイス(Councillor Barry Lewis)
肩書：ダービーシャー県リーダー(Leader of Derbyshire County Council)



南ダービーシャー市(South Derbyshire District)
代表者：デーヴィッド・ムラー(Councillor David Muller)
肩書：南ダービーシャー市議長
(Chairman of South Derbyshire District Council)



豊田市70周年のお祝いメッセージ

ダービーシャー県／ダービー特別市／南ダービーシャー市／豊田市パートナーシップ推進協議会

姉妹都市であるダービーシャー3自治体が、この記念誌への寄稿を依頼されたこと、大変光栄に思います。豊田市との友情が互いの協力関係を深め、2018年に姉妹都市提携20周年を記念してダービーシャー3自治体は「豊田市パートナーシップ推進協議会※」を設立しました。

豊田市とダービーシャーには、多くの共通点があります。お互いのことをより知ること、さらなるつながりを発見しました。「挙母」と呼ばれていた時代、豊田市は絹を生産し、そしてダービーシャーも19世紀に綿と絹を生産していました。ダーウエント川流域に「ダーウエント峡谷の工場群」という世界遺産があります。

現在、ダービーシャー3自治体は英国トヨタ自動車と密接に関わり合い、将来に向けたモビリティ革命に取り組んでいます。私たちは、地球環境の持続可能性への懸念と森林への愛着を共有しています。豊田市には豊かな森林があり、ダービーシャーにも広大なナショナルフォレストがあります。将来的には、私たちの森で共に学び、気候変動と一緒に立ち向かうことを望んでいます。また、日英文化年間活動の一環として、日本企業から英国に163本の桜の木が贈られたことは、とても幸せなことだと感じています。これらの桜の木は公共スペースに100本植えられ、花見が楽しめます。63の学校にも1本ずつ桜の木が植えられました。桜の木々を通して、私たちは日本や豊田市と、より強い友情を育てたいと思っています。

22年間の友情の中で、学校や大学の交流は若者たちに多くのチャンスを生み出してきました。安全な時期にこれらの交流を再開できることを楽しみにしています。また、子どもたちも友情を育むことができるように、バーチャルテクノロジーを使用して交流の幅を広げることを計画しています。コロナ禍において、私たちのパートナーカレッジであるパートン&サウスダービーシャーカレッジはバーチャルプラットフォームを開発しました。これらのスキルを活用して親交を深めたいと考えています。南ダービーシャー市のレプトンスクールは、引き続き豊田西高校と強いつながりを持続けます。また、ダービー大学と中京大学は、メンタルヘルスと自然に関する共同研究を行い、強い絆を築いています。

2019年はラグビーの年でした。豊田市で開催されたラグビーワールドカップの期間中、英国のスポーツ文化の一部を豊田市で展示できたことを非常に誇りに思います。サッカーと強いつながりがある私たちは、国際試合が行われるウェンブリースタジアムにダービーシャー日本人補習校の生徒を招待しました。共にスポーツに熱中する体験は、友情を大きく育みます。

私たちが未来に向かうにつれて、豊田市とダービーシャー3自治体の友情はますます重要なものになっています。私たちは不確実で急速に変化する時代に生きており、問題を解決し、互いに学び、共に進歩するためにみんなが協力する必要があります。手を差し伸べ合うだけで、私たちは強くなります。豊田市の70周年を祝う素晴らしい時に、姉妹都市であり続けられることを誇りに思います。おめでとうございます。



ダービー特別市(City of Derby)
代表者：クリストファー・ポウルター(Councillor Christopher Poulter)
肩書：ダービー特別市リーダー(Leader of Derby City Council)



豊田市パートナーシップ推進協議会※(Toyota City Partnership Board)
代表者：トニー・キング(Councillor Tony King)
肩書：豊田市パートナーシップ推進協議会代表(ダービーシャー県議会議員)
(Chair of the Toyota City Partnership Board)
(Councillor of Derbyshire County Council)



※豊田市パートナーシップ推進協議会／2018(平成30)年、姉妹都市提携20周年を記念して設立。豊田市とダービーシャーが、様々な共通目標の分野で共に活動する組織で、ダービーシャー3自治体のリーダー等の関係者、ダービー大学、パートン&サウスダービーシャーカレッジ、英国トヨタ自動車、ナショナルフォレスト等、双方の友好関係のさらなる発展に関わる団体の代表者等で構成されている。



姉妹都市からのメッセージ

豊田市は「クルマ」をキーワードに2か国・4自治体と姉妹都市提携を結んでいます。

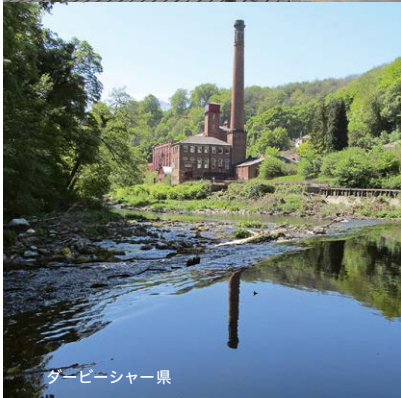
1960(昭和35)年9月に米国デトロイト市と、1998(平成10)年11月に英国ダービーシャー3自治体と姉妹都市提携を結び、

交換学生の派遣・受入れや互いのまちへの訪問などを通して交流を深めてきました。

豊田市が70周年を迎えるにあたり、デトロイト市とダービーシャー3自治体それぞれから温かなお祝いのメッセージが届きました。



南ダービーシャー市



ダービーシャー県



ダービー特別市



デトロイト市



米国

デトロイト市

It is my pleasure to join with the citizens of Toyota City and Detroit in celebrating such a momentous occasion – the 60th anniversary of our Sister Cities relationship. I am grateful for the commitment that has been demonstrated for six decades and led to many lifelong relationships and partnerships. Even during this time when the world is faced with a pandemic that has changed how we live and work, it is good to be reminded of the importance of relationships, such as ours. The individuals who have participated in the student exchange program, and educational and cultural exchanges point to their experiences in Toyota City and Detroit as being highlights of their lives. It is my hope that the bond between our two great cities will continue to flourish and be the foundation for meaningful exchange of ideas and culture for decades to come. Congratulations on this wonderful anniversary!



デトロイト市(City of Detroit)
代表者：マイク・ダガン(Mayor Mike Duggan)
肩書：デトロイト市長(Mayor of City of Detroit)




姉妹都市提携60周年という重要な節目を迎えて、豊田市とデトロイト市の市民が一緒にお祝いできることを嬉しく思います。60年間にわたって継続され、長い時間をかけて築かれた関係と提携に基づくパートナーシップに感謝しています。

世界中の生活や働き方を変えたパンデミックに直面しているこの時期、私たちのような友好関係の大切さを再認識しています。交換学生事業や教育・文化交流に参加した人々は、豊田市やデトロイト市での経験が人生においてとても輝かしいものだと感じています。

両都市の絆がさらに強く結ばれ、今後数十年にわたるアイデアと文化の有意義な交流の基盤となることを願っています。

市制70周年、おめでとうございます!




とよだ しょういちろう

豊田 章一郎

2011(平成23)年3月5日推挙
2007(平成19)年11月3日桐花大綬章

社団法人経済団体連合会会長等を歴任、日本を代表する経営者として我が国産業経済の興隆及び本市発展に大きく貢献した。




うらの やすおき

浦野 休興

2013(平成25)年3月2日推挙
2012(平成24)年4月29日旭日重光章

衆議院議員、科学技術庁長官(国務大臣)。1979(昭和54)年から衆議院議員に6期連続当選。国とのパイプ役として活躍し、市の発展に貢献した。




すずき こうへい

鈴木 公平

2013(平成25)年3月2日推挙
2013(平成25)年4月29日旭日中綬章

7代目豊田市長。2000(平成12)年から3期12年にわたって、7市町村合併、都市内分権や市民と行政の共働によるまちづくりの推進など、市の発展に貢献した。




くらち としひこ

倉知 俊彦

2016(平成28)年3月5日推挙
2011(平成23)年11月3日旭日中綬章

愛知県議会議長。1971(昭和46)年から11期44年にわたり愛知県議会議員を務め、地域の発展と住民福祉の向上に尽力し、市の発展に貢献した。




やまうち いっせい

山内 一生

2018(平成30)年3月3日推挙
2007(平成19)年4月29日旭日小綬章

豊田小原和紙工芸作家。小原和紙を美術工芸品として芸術性を高めるとともに、その名を国内外に広めるなど市の産業・文化の進展に貢献した。




ふじしま あきら

藤嶋 昭

2021(令和3)年3月6日推挙
2003(平成15)年11月3日紫綬褒章
2017(平成29)年11月3日文化勲章

東京理科大学名誉教授。「光触媒」を世界で初めて発見。「光触媒」の研究成果による科学技術や産業文化の発展への貢献に加え、市の人材育成や教育振興に貢献した。




にしやま たかし

西山 孝

1990(平成2)年3月3日推挙
1994(平成6)年4月29日勲四等旭日小綬章

5代目豊田市長。1976(昭和51)年から3期にわたり、都市整備、道路網の充実をはじめ都市基盤の整備に貢献した。




たかはし せつろう

高橋 節郎

1998(平成10)年3月7日推挙
1986(昭和61)年4月29日勲三等瑞宝章
1997(平成9)年11月3日文化勲章

漆芸作家。日本国内だけでなく海外でも高く評価されている。多くの作品を市に寄贈し、市の美術文化の向上に貢献した。




とよだ えいじ

豊田 英二

2000(平成12)年3月4日推挙
1990(平成2)年11月3日勲一等旭日大綬章

トヨタ自動車株式会社最高顧問。日本を代表する企業のトップとして卓越した経営手腕を発揮し、豊田市の発展にも大きく貢献した。




とよだ かずこ

豊田 壽子

2000(平成12)年3月4日推挙

財団法人豊田市国際交流協会初代理事長。多年にわたり、福祉活動に尽くし、豊田婦人ボランティア協会、豊田市国際交流協会などの設立に中心的な役割を果たした。




とよだ きいちろう

豊田 喜一郎

2001(平成13)年3月3日推挙
1952(昭和27)年4月勲四等瑞宝章

トヨタ自動車工業株式会社の創業者。本市に自動車量産工場を建設し、国産自動車工業の基礎を確立し、本市発展の基盤を築いた。




かとう まさいち

加藤 正一

2001(平成13)年3月3日推挙
2001(平成13)年11月3日勲四等旭日小綬章

6代目豊田市長。1988(昭和63)年から3期12年にわたって福祉の増進、中核市にふさわしい交流基盤の整備など、本市の発展に貢献した。




ながさか ていいち

長坂 貞一

1968(昭和43)年12月15日推挙
1964(昭和39)年10月21日藍綬褒章

3代目挙母市長。1956(昭和31)年から2期にわたり、鉄工団地の建設など、産業の発展と広域行政に努め、地域開発による都市改造を推進した。




うらの さちお

浦野 幸男

1977(昭和52)年3月1日推挙
1977(昭和52)年1月17日勲一等瑞宝章

衆議院議員、労働大臣。1960(昭和35)年から衆議院議員に6期連続当選。国とのパイプ役として活躍するとともに、市の発展に尽くした。




ほんだ しずお

本多 静雄

1977(昭和52)年3月1日推挙
1964(昭和39)年4月20日藍綬褒章
1973(昭和48)年11月3日勲二等瑞宝章

日本電話施設株式会社相談役。猿投山西南麓の古窯跡群の発見者としても著名。資料や出土品の収集、研究により、郷土文化の振興に寄与した。




さとう たもつ

佐藤 保

1977(昭和52)年3月1日推挙
1983(昭和58)年11月3日勲四等瑞宝章

4代目豊田市長。1964(昭和39)年から3期にわたり地方自治に貢献。東西加茂郡を一体化した広域行政や都市開発に貢献した。




くらち けいたろう

倉知 桂太郎

1985(昭和60)年3月2日推挙
1985(昭和60)年4月29日勲四等旭日小綬章

愛知県議会議長。県議会議員に6期連続当選。猿投グリーンロードの建設に努めるなど、市の発展に力を注いだ。




さかい すずお

酒井 鈴夫

1985(昭和60)年3月2日推挙
1987(昭和62)年4月29日勲三等瑞宝章

愛知県議会議長。県議会議員に5期連続当選。自動車工場の誘致や土地改良事業など、市の活性化に尽くした。






わたなべ はつきち

渡邊 汎吉

1961(昭和36)年3月1日推挙
1967(昭和42)年12月12日勲四等瑞宝章

初代挙母市長。1946(昭和21)年から挙母町長、1951(昭和26)年からの4年間は、挙母市長として市発展の基礎をつくった。




なかむら じゅいち

中村 寿一

1961(昭和36)年3月1日推挙
1956(昭和31)年1月11日勲五等瑞宝章

2代目挙母市長。挙母町長時代、トヨタ自動車の誘致に奔走し実現した。工業都市の基盤づくりに尽くした。



きのした のぶ

木下 信

1962(昭和37)年2月22日推挙
1958(昭和33)年5月3日黄綬褒章

加茂蚕糸販売農業共同組合連合会理事長。1962(昭和37)年まで西加茂製糸株式会社代表取締役を務め、地域の農業育成や養蚕の振興に多くの業績を残した。